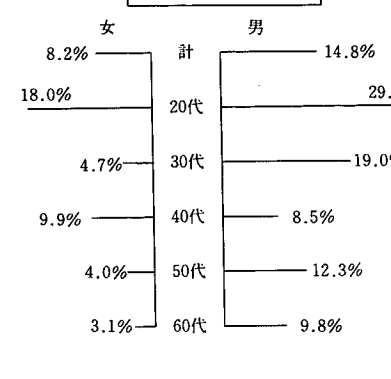
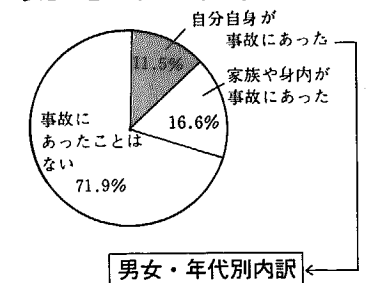


# 10人に1人が事故に

「ここ3年くらいの間に交通事故に故にあったことがありますか」という質問の結果が⑪です。全体で10人に1人が事故にあっていて、特に20代男性で約30%、20代女性が事故にあっていて、自動車利用率が高い年代が事故にあっていて、と聞かれています。

それでは、交通事故防止の対策をどうしたらよいか、という質問に対する回答が⑫です。「歩道と車道の分離」が最も多く回答者全員の約70%。ついで、「道路をひろげる」「交通安全教室の徹底」がともに約40%となっています。でも「道路が狭い」「歩道が少なく」と指摘されていますが、自動車が通行するには、町内の現在の道路では狭すぎるようです。

## ⑪ここ3年くらいの間に交通事故にあったことがありますか。

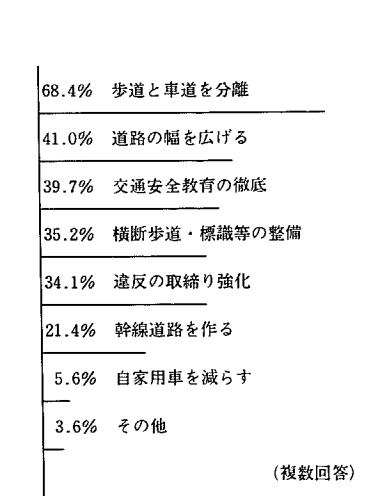


また、高校生のバイク・オートバイによる事故は、昨年、西警察署管内で死者3人、傷者29人あり、対策が必要とされています。⑬のように、家庭での安全教育、学校での教育が必要であるとされていますが、免許取得年齢の引上げも望まれています。

## 家庭・学校を重視

交通事故の防止には、道路整備や信号機・カーブミラーなどの交通安全施設の整備も必要ですが、交通安全について十分な認識をそれぞれの人が持つことも大事です。「交通安全意識を高めるにはどうすればよいか」という質問に対し、「家庭における話し合い」が約58%、「保育所・学校における教育」が約50%。また、20代、30代男性では「職場での意識啓発」が比較的多く、職場での安全教育も必要と思われる。

## ⑫交通事故の防止対策として何に力を入れてほしいと思いますか



安全運動への関心は 町では県の交通安全運動に合わせ、街頭指導や指導車によるパトロールなどを実施しています。交通安全教育や各種講習会も行っています。直接的には交通事故防止に結びつかなくても、少しずつ意識を地域から、また家庭からつとめていくことが大切と、町では考えています。

保育所や小学校での交通安全教育が十分に行われているか、という質問に「まだ不十分だ」が54.2%ありました。町では、学校・保育所の協力を得て、交通安全教育を充実するよう努力します。また安全協会で運転者講習会を行っていますが、どのような内容が望まれているのか、⑭です。一番多かったのが「事故にあったときの対応」で40%、ついで「体験談をまじえた講話」で37%。

また町で行っている交通安全運動について「満足な結果が得られず、もう少し力を入れてほしい」と答えています。しかし「行っていることを知らなかった」が13.9%ありPRがまだまだ足りないようです。

## アンケート結果を見て



新潟西警察署 交通課長 佐藤 秀雄

こうしたアンケート調査というのは警察でもやっていませんし、近隣の市町村でもやっていません。ですから、こうしたアンケートをとったこと自体とてもいいことだと思います。

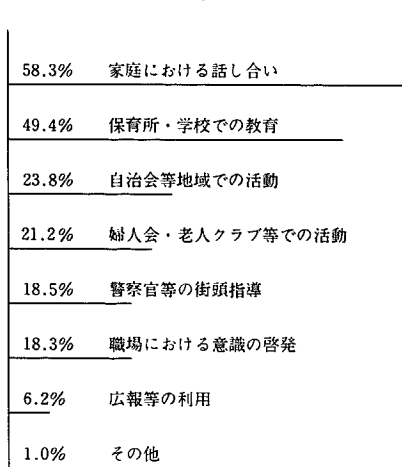
ただ、初めてのアンケート調査ということもあり、次にやる時にはもっと的を絞ってやったらいいと思います。たとえば、交通事故に遭ったことがあるかどうかという質問がありますが、遭ったことがあるという人に心境などを聞いてはどうか、と思います。

事故体験談をもっと多くの人から聞き出して、具体的な事故の状況や原因を明らかにできたらいいのではないのでしょうか。

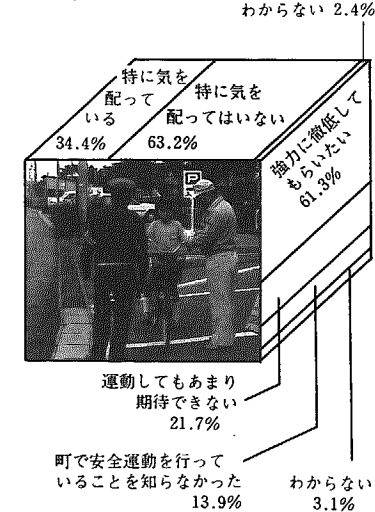
最後の意見欄にはいろいろな要望・意見が載っていますが、何か規制をするということは難しいです。参考にはしますが、一時停止や駐車禁止などの規則は、その地域の人たちの意見も聞いて行かなければなりません。

あと、問⑬や⑭の結果で見られるように安全運動が徹底していませんね。こちらではかなり力を入れて取り組んでいるのですが、知らないという人が約15%ですか、正直行ってガッカリしました。道路をよくすれば事故は確かに減りますが、事故が起きると大きな被害が出る傾向があります。ですから、モラルの向上、安全意識の浸透を図ることが、これからの行政の対応として必要でしょう。

## ⑭交通安全意識を高めるためにどうすればよいと思いますか。



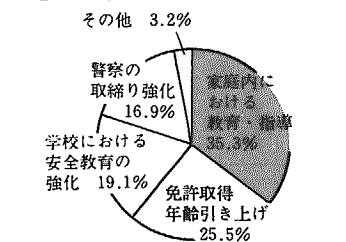
## ⑮交通安全運動期間中、特に交通安全について気を配っていますか。



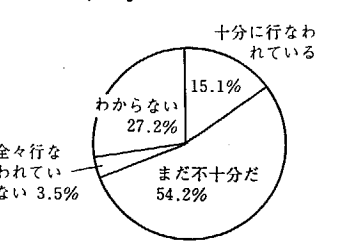
## ⑯町で行っている交通安全運動についてどのようにお考えですか。

町で行っている交通安全運動についてどのようにお考えですか。町では県の交通安全運動に合わせ、街頭指導や指導車によるパトロールなどを実施しています。交通安全教育や各種講習会も行っています。直接的には交通事故防止に結びつかなくても、少しずつ意識を地域から、また家庭からつとめていくことが大切と、町では考えています。

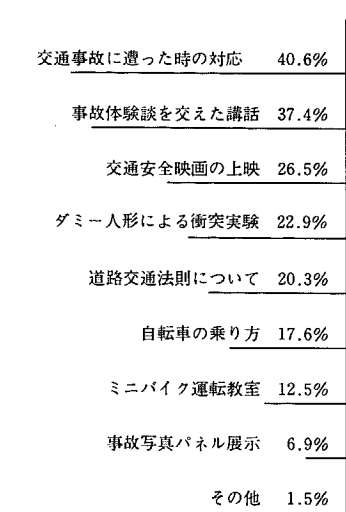
## ⑰高校生のバイク・オートバイ事故を防ぐにはどうしたらよいと思いますか



## ⑱保育所や小学校での交通安全教育が十分に行われていると思いますか。



## ⑲交通安全の教室、講習会に参加するとしたらどのような内容でやってほしいと思いますか。



転車の横ならび運転・かさし運転の禁止を。(9)▼交通安全課を設置し積極的に取り組む。▼カーブミラー、標識の点検、交差点の草刈り。(8)▼道路の整備を(舗装、凸凹を埋める、新幹線側道の整備など)。(13)▼通勤時間帯と通学時間帯が異なる、子供たちの安全を。(6)▼カーブ地点の標識・看板などをなくしてほしい。▼自転車道がほしい。▼下水路などをふたをして歩道に。▼大野町中の交通が混雑しているの、一方通行か片側駐車を。▼国道沿いの歩道に車がとまっていたり自転車を通れない。▼歩道を作してほしい。(5)▼バイク路線を作る。▼電灯などの設置整備。

## 皆さんからの

### 意見・要望

アンケート用紙最後の欄に意見・要望を書いていただきました。224件の意見・要望が記されていました。左記に意見・要望の要旨を紹介いたします。

- ▼警察への要望)▼若者、大型車の暴走運転の取締りを。(9)▼交差点内や狭い道路、高速バス停留所付近の違法駐車取締りを。(7)▼スピード違反の取締りを。(14)▼パトカーによる安全指導、呼びかけ運動、道路パトロールなどを。(5)▼交差点に信号機の設置を。
- ▼運転免許の取得年齢の引き上げ。▼交通規則を厳しく。▼違反者の罰金が軽い。▼飲酒運転の取締りを。▼違反取締りより適切な安全指導を。▼必要以上の交通規則は車の流れを悪くするのでやめてほしい。
- ▼シートベルト着用反対。▼中学生の無免許運転の取締りを。▼軽自動車の路上駐車が多い(車庫証明が不要のため)。
- ▼安全通守者に対する特急充実。
- ▼ねずみ取りのようなことはやめてほしい。
- ▼取り締まってほしい人がつかまらず時たま見通しのよい交差点で一時停止しなかったためにつかまらなかった。常にやっている人も取り締まってほしい。(町への意見・要望)▼保育所・小学校でのバイクの乗り方が悪い。▼老人の自転車の乗り方・マナーが悪い。(5)▼小学生の自転車の乗り方・マナーが悪い。▼自
- ▼各自治会ごとに交通安全講話会を。▼老人、婦人が交通ルールを守らない、講習会を。▼中・高校生に自転車の乗り方教室を。▼高校生のバイクの乗り方が悪い。▼老人の自転車の乗り方・マナーが悪い。(5)▼小学生の自転車の乗り方・マナーが悪い。
- ▼中学生の自転車の乗り方・マナーが悪い。(12)▼各自治会ごとに交通安全講話会を。▼老人、婦人が交通ルールを守らない、講習会を。▼中・高校生に自転車の乗り方教室を。▼高校生のバイクの乗り方が悪い。▼老人の自転車の乗り方・マナーが悪い。(5)▼小学生の自転車の乗り方・マナーが悪い。

※( )内の数字は件数。ただし、5件未満のものは省略。